

為政者への宣教

～福音となったイエス～

2026・9・20

エルサレムで捕らえられたパウロ

- 「投獄と苦難」を覚悟してエルサレムに
 - 「ただ、投獄と苦難とがわたしを待ち受けているということだけは、**聖霊がどこの町でもはっきり告げてくださっています。**」使徒言行録20:23
- 神殿で捕らえられ暴行を受ける
 - 「アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、こう叫んだ。」21:27
- ローマ守備隊の千人隊長がやってきた
 - 「千人隊長は近寄ってパウロを捕らえ、二本の鎖で縛るように命じた。」33

エルサレムで人々に証しする

- 兵營に連れていかれる前に千人隊長に頼む
 - 「千人隊長が許可したので、パウロは階段の上に立ち、民衆を手で制した。」21:40
- イエスと出会い回心したことを証しする
 - 自分はかつて迫害者だったが、ダマスコでイエスの声を聞き、回心し、宣教者となった(22:1-21)
- 大騒ぎになり、鞭打たれそうになる
 - 「こんな男は、地上から除いてしまえ。生かしてはおけない。」22
 - 千人隊長が鞭打って調べるように命じたが、パウロが「ローマ市民」であると告げたため中止した

最高法院で語る

- 千人隊長が最高法院を招集した
- パウロは大祭司にいきなりけんかを売った！
 - 「**白く塗った壁よ**、神があなたをお打ちになる。」23:3
- 「死者の復活」について語ったので騒ぎになった
 - 死者の復活を認めているファリサイ派とそうでないサドカイ派の間で論争になった
 - パウロが「引き裂かれ」そうになったので兵營に
- その夜、主がパウロに語られた
 - 「勇気を出せ。エルサレムでわたしのことを力強く証したように、**ローマでも証しをしなければならない。**」11

カイサリアに送られる

- パウロの暗殺計画が起こる

- 「夜が明けると、ユダヤ人たちは陰謀をたくらみ、パウロを殺すまでは飲み食いしないという誓いを立てた。」23:12

- その企みを「パウロの姉妹の子」がパウロに伝える

- 千人隊長はその夜のうちにパウロを護送する

- **ローマ総督フェリクス**いたカイサリアに送った

- 大祭司が弁護士を伴って訴えに来た

- 「実は、この男は**疫病のような人間**で、世界中のユダヤ人の間に騒動を引き起こしている者、『ナザレ人の分派』の主謀者であります。」24:5

フェリクスの前で証しする

•パウロの弁明

- 「こういうわけで私は、神に対しても人に対しても、責められることのない良心を絶えず保つように努めています。」24:16

•総督フェリクスと妻ドルシラに伝道する

- 「数日の後、フェリクスはユダヤ人である妻のドルシラと一緒に来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスへの信仰について話を聞いた。」24:24
- その後も度々「呼び出しては話し合っていた」
- その後2年間カイサリアに軟禁された

ローマ皇帝に上訴する

- 後任の総督フェリクスはパウロを監禁した
 - 「フェリクスは、ユダヤ人に気に入られようとして、パウロを監禁したままにしておいた。」24:27
- 再びエルサレムからユダヤ人が訴えに来る
 - 「パウロが出廷すると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちが彼を取り囲んで、重い罪状をあれこれ言い立てたが、それを立証することはできなかった。」25:7
- パウロ、**ローマ皇帝に上訴する**
 - 「しかし、この人たちの訴えが事実無根なら、だれも私を彼らに引き渡すような取り計らいはできません。私は皇帝に上訴します。」11

アグリッパ王に伝道する

- ガリラヤの国主であったアグリッパ王が妻ベルニケと共にフェストゥスに表敬訪問に来た
- フェストゥスがパウロの話しをすると、アグリッパ王はパウロの話しを聞きたいと言った
 - 「アグリッパがフェストゥスに、『わたしも、その男の言うことを聞いてみたいと思います』と言う」25:22
- パウロ、フェストゥスとアグリッパ王に証しする
 - 「つまり私は、メシアが苦しみを受け、また、死者の中から最初に復活して、民にも異邦人にも光を語り告げることになると述べたのです。…王ばかりでなく、今日この話を聞いてくださるすべての方が、私のようになってくださることを神に祈ります。」26:23~

捕らえられた結果(21～26章)

- エルサレムの民に語る(回心の証)
- 最高法院で語る
 - カイサリアに送られ、軟禁される
- ローマ総督フェリクスと妻ドルシラに語る(回心の証)
 - ローマ皇帝に上訴する
- 新総督フェストウスとアグリッパ王と妻ベルニケに語る(回心の証)

為政者への宣教の機会を得た

捕らえられた結果(21～26章)

- エルサレムの民に語る(回心の証)
- 最高法院で語る
 - カイサリアに送られ、軟禁される
- ローマ総督フェリクスと妻ドルシラの心(回心の証)
 - ローマ皇帝に上訴する
- 新総督フェストウスとアグリッパ2世に語る(回心の証)

聖霊の
不思議な
導き

為政者への宣教の機会を得た

為政者への宣教

- 「為政者」とはいえ一人の人間ではないか？
 - 特別視する必要はないのではないか？
- クリスマンであるからといって良い（正しい）為政者であるとは限らない
 - 戦争を仕掛けている大国のリーダーも…
- 為政者の信仰が与える影響は大きい
 - 信仰に対する安心感・肯定的なイメージ
- 為政者のために祈る
 - 「願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。王たちやすべての高官のためにもささげなさい。わたしたちが常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送るためです。」テモテー2:2